



# 芝雄

SHIYUU

No.48 '15.9

芝浦工業大学中学高等学校同窓会芝雄会 広報誌「芝雄」

新企画 「板橋校舎サヨナラ企画」 始動!!

江藤元校長・豊田会長対談 第60回芝生祭

鐵中・育英・芝浦  
100周年に向かって

芝雄会

# 江藤元校長 × 豊田会長

## 対談



芝雄会会長  
**豊田 尚之**  
板橋第 29 回生

現・芝雄会会長をつとめる 1983 年 3 月卒業生。池袋校舎で青春時代を過ごし、板橋校舎の第 1 期卒業生でもある。現在は、建築系の事務所を経営している。



我々の母校の移転は、2017 年の豊洲校舎で 5 回目となる。そこで、前校舎である“池袋”、現校舎である“板橋”のそれぞれに深い思いのある芝雄会会長・豊田氏と、卒業生で前々校長でもある江藤氏に過去の移転時の話や母校にかける思いを語ってもらった。

### 池袋・板橋時代を振り返って ——豊洲の“弱み”と“強み”

豊田会長（以降、豊田）このような機会にお越しくださり、ありがとうございます。江藤先生とはゴルフ部 OB 会でいつもお世話になっていますが、今回のようにゆっくりとお話できるのは久しぶりですね。

江藤元校長（以降、江藤）確かに、そうだね。今日は校舎移転に関することだけ？

豊田 移転事業自体はもう学校側で決まっていることも多くて、私たちが意見をして変えられることは少ないのですが、過去に 1 回、母校の校舎移転を経験した身として、いろいろ振り



第 12 代校長  
**江藤 浩一**  
池袋第 12 回生

池袋校舎を卒業した第 12 回生。2004 年 6 月から 2009 年 3 月まで本校 12 代目の校長をつとめた。現在は芝浦工業大学の非常勤講師として人文・社会科目を教える。

# 新しく豊洲で卒業する人たちにも “芝浦らしさ”を知ってもらいたい

返ってみたいと、そういう趣旨です。  
江藤 卒業生にとって母校は3年もしくは6年間学んだ大切な土地だよな。僕にとっては池袋で、豊田くんにとっては池袋と板橋で半々かな。

豊田 最近では、親になった卒業生が子どもを自分の母校に通わせているケースもあるみたいです。親子で同じ先生に教えられているのだとか。

江藤 そうなると本当は同じ校舎で学んで欲しいよね。でも、現実問題として建造物としての校舎はもうガタがきている。板橋校舎をつくる時、資金面だけでなく設計期間も厳しかったことをいまでも覚えているよ。もちろんいまの校舎は気に入っていて、もともとあった暗渠<sup>あんきよ</sup>をうまく生かして、正門から校舎を見ると広々としていて明るく感じる。それに職員室が小さくて研究室がたくさんある。生徒たちは研究室にいる先生を気軽にたずねて、授業でわからなかったことを聞ける。

豊田 生徒としては、やっぱり“新品の校舎”というのはうれしかったですね。なんだか“夢”がありました。そういう意味では豊洲という土地もパワーがありますよね。来年開場予定の豊洲新市場からは橋がのび、高速道路も走っている。個人的には池袋に負けず劣らず活発な土地だと思います。

江藤 ただ、埼玉と結ぶラインがだんだん薄れているのは少し心配だね。池袋時代は当時 JR の赤羽線が通っていて赤羽とつながっていた。板橋は浮間舟渡駅があるけど、少し遠い。豊洲になるとまた少し不便になっちゃうね。

豊田 そこは確かに憂慮点ですね。いままで埼玉に芽生えていたものがなくなってしまうかもしれない。今回、立地的には大学の傘下に入る感じですけど、私としてはぜひ豊洲という地域に

根ざした学校になってほしいです。

江藤 学校を選ぶとき、何を基準にするか？ それは、どんな仲間が集まって、どんな将来に役立つことが学べるかってこと。僕は結果的に文系に進んだけど、入学時は理系に行こうと思っていたから芝浦を選んだ。理系プログラムは芝浦工大にしかない利点だから、どんどんアピールしてほしいね。

## 豊洲移転の前に

### 卒業生として、できること

江藤 とはいえ、あまり移転事業にも学校経営にも干渉する気はないんだ。重要なのは、場所が変わってしまってもいいが、本質を忘れちゃいけない。

豊田 思い出や取り組んだこと、過去を残したいわけではなくて、新しく豊洲で卒業する人たちにも知る機会を持って欲しい。うちの学校はもともと決まったカラーの人はほとんどいないし、自分たちで決めて実行する校風だったと思います。だから、知った上で新しいことに挑戦してもらえると卒業生冥利につきます。

江藤 大学も同じことが言えて、田町から豊洲に本校舎を移したとき「もう母校じゃないから足が遠のいた」という人と「ここに来てよかった、大学の発展を見た気がする」という人に分かれた。後者が多ければ学校は今後ももっとよくなるし、そのためには学校の魅力を伝えていかないといけない。

豊田 今回、この対談企画を実施した狙いでもあるんですが、私は江藤先生はうちの学校になくてもならない存在だと思っています。伊尻校長（第10代校長を1992年3月までつとめた伊尻政一先生）時代の校風を理解されていて、まさに芝浦中高の生き字引。池袋そして板橋の価値や歴史を残せるのは江藤浩一しかいない、と。

江藤 そう言ってもらえると、なんか恐縮だけでも。

豊田 でも、先生はこうして会わないと重要なことを話してくれないから（笑）これから、豊洲移転と創立100周年に向けて、芝雄会は先生を含め多くの卒業生の思い出を、“芝浦らしさ”を知ってもらうために聞いて、そして残していきたいと思っています。今後とも何卒よろしくお願いします。

## 中高時代の思い出話に花が咲く



対談中は何度も江藤先生が中高教壇に立っていたころの話に。豊田会長は「（先生の話は）おもしろかったけど、理屈っぽかった」と語り、2人の間には終始笑顔が絶えなかった。

# 「板橋校舎サヨ

板橋第54回生  
本多 隼也 氏



2017年3月、学校は板橋から豊洲へ移転する。今までお世話になった板橋校舎とのお別れイベントとして、「板橋校舎サヨナラ企画」が始動した。今回は、その

## ! 企画立案の経緯について



芝雄会副会長 本多隼也氏（板橋第54回生）  
ちょうど校舎移転が決まった頃に、私は芝雄会の活動へ携わるようになりました。この時すでに、90・60・30周年イベントが行われてから数年が経っていましたから、会の活動は少し盛り上がり欠けるように感じました。こうした背景から、「芝生祭や学園祭での経験を活かし、何か一発できたらいいな。校舎移転の今、やらなきゃいけないな。」と感じ、企画を考えました。



事業部長 武永翔氏（板橋第59回生）  
僕はイベントが好きなので、立案を聞いてすぐに「面白そうだなあ、やりたい!!」と思いました。

## ? イベントのコンセプトを教えてください



この企画自体、まだまだこれからというところで、かっちりと決まっていなかったことはあるのですが、そのなかでも2つ大事にしたいことがあります。1つ目は「最後にしかできないようなことをしよう」という思いです。もう一つは、「板橋校舎最後の日に、中高時代に戻ってみよう」ということです。この2点が満たせるものを、要素として取り込みたいと思います。

## ? 具体的な企画内容を教えてください



まず、昼夜に分けて行いたいと考えています。昼は在学中を再現した企画、例えばお世話になった先生の授業をもう一度受ける機会。大人になってしまうと、椅子に座って前の人に話を聞くことは無いですからね。授業は座学だけでなく、物を作ったり音楽をしたり、そういった体験するものもできたらいいと思っています。夜は、学校全体を使った大きな事をしようと考えています。例えば、今はやりの謎を解いて校舎から脱出するゲームや、プロジェクションマッピングなどです。これらのイベントとは別に、大規模同窓会も検討しています。同期生だけでなく先輩後輩や、更には世代を超えた交流の場を用意したいですね。他にも、板橋校舎サヨナラと同時に豊洲へと繋がる内容も盛り込めたらいいと思います。皆様からのアイデアも絶賛募集中です。是非ご提案をお願いします。



# 2017年 3月 実施予定!!!!


# ナラ企画」始動!




板橋第59回生  
武永 翔氏


立案と運営を担う芝雄会副会長 本多氏 (板橋第54回生) と、サポーターとして本多氏と共に運営を進める事業部長 武永氏 (板橋第59回生) にお話を伺った。

## ? つまり、どんなイベントですか?

 OBによる文化祭のようなイメージをしています。大きな文化祭のような要素に加えて、記念式典を少ししたいと考えています。

 そのようなイメージで合っています。立食パーティーのような企画も考えましたが、せっかくなら校舎を活用して、もっとみんなでワイワイできる「祭り」のほうがり上がると思っています。校舎移転は「もう二度と来ないであろうチャンス」なので、何かの延長線というよりも、ひとつの大きなイベントとしていろいろな企画を立案・実施できたらいいかなと思います。


## ? どういった形で企画を進めていくのでしょうか


 2017年3月に企画をやることは学校に宣言して、常任幹事の中で構想は練っていますが、まだまだこの企画は構想段階です。

そのため、OBから運営メンバーを募り、企画の具体化から準備、当日の運営まで一緒にやろうと思います。また、企画アイデアについてもアンケートなどで広く募集していきます。


この紙面を読んだ皆様、ぜひ企画アイデアについてアンケートに答えていただきたいです。また、少しでも運営に興味を持たれたら、メンバーに応募していただきたいです。


## ? 今後の流れを教えてください

 実施は2017年3月下旬を予定しています。場所は、板橋校舎全体を考えています。学生・社会人を問わず運営メンバーを募集中です。社会人の方々も参加していただけるような、準備日の日程を考えています。

 予算と企画の大枠は、今年度中に決めたいと考えています。有志の皆様による企画も今後募集することを考えていて、その募集も年内から開始したいと思います。もちろん、期日が募集終了というわけではなく、その後も継続して募集は続けたいと思います。人が集まり次第、決起集会の開催も考えています。

## ? イベント運営に参加したいのですが、どうすればいいですか?

 運営に参加していただける方は、まずはメーリングリスト (本記事枠外) への登録をお願いします。少しでも興味のある方は、是非登録をお願いします。有志企画の出展を希望される方も、同様にメーリングリストへの登録をお願いします。

 われわれ芝雄会役員だけでなく、未来の同窓生である現役生から、卒業してからしばらく経つご年配の方々まで、幅広い世代の方に参加していただきたいと考えています。

運営メーリス >> [sayonara@shiyuukai.com](mailto:sayonara@shiyuukai.com)

お問い合わせ: 芝雄会事業部 ( [jigyuu@shiyuukai.com](mailto:jigyuu@shiyuukai.com) )

# 豊洲校舎移転計画》 進捗状況報告2015

2017年に完成を控えた豊洲校舎。  
2014年8月からの約2年の経過に迫る——

## 2014年8月～2014年10月

全くの更地だった敷地に徐々に機材などが搬入された。まだこの段階ではどこにどのような建物が建つのかなど見当もつかないが、更地ということもあり、豊洲校舎の敷地の広さを改めて認識させられる。10月末の段階では大型のクレーン車なども運び込まれ、本格的に工事が開始された。

2014年8月



2014年10月



## 2015年1月～2015年3月

年が明け、更に本格的に校舎の体育館側の建物の建築に着工。地下から骨組みを構成し、安定した基礎を作り始める。安定した地盤はとても重要になる。

3月末頃には骨組みが徐々に組み上がり、広大な敷地の中の校舎の大きさが明らかになってきた。

2015年1月



2015年3月



## 2015年6月～2015年7月

夏前には体育館側の校舎の工事が更に進行し、2～3階まで伸びているように見える。更に教室や実験室側の建物の工事も進行し、教室などの各部屋の配置も明らかになってきた。

それと同時に校庭周辺の外構も整備が進み、完成への下準備が徐々に進行していく。

2015年6月



2015年7月



※白線内に示しているのが校舎敷地



# 懐かしい仲間たちと『同期会』で集まろう

中学・高校を卒業してから何年になりますか？ 青春時代をともに過ごした同級生、同じ目標に向かって切磋琢磨した部活の先輩・後輩、そんな人たちと集まれる“同期会”を芝雄会は支援します。年代を問わず 15 人以上の宴会・

食事会を開催していただくと、芝雄会から一律で 3 万円の補助金をお出ししています。いままで「集まろうにもお財布事情が少し厳しい」、「人を呼びかけるのにも費用がかかってしまう」と考えていた方は、ぜひご検討ください。

## 同期会補助細則とは

- 15 人以上の出席で、一律 3 万円の補助金を出す。
- 世代を横断した部活動等の OB 会なども同様の扱いとする。
- 15 人未満もしくは 3 万円を超える補助を求める場合は、常任幹事会の承認を得るものとする。
- 加えて、出欠確認用の通信費（郵送に限る）を申請できる。
- 出席者名簿と開催時の写真を学校に提出する。

## 必要なもの&連絡先

- ご提出いただくもの  
事前申請書、  
当日の写真、報告書
- ご連絡先  
学校職員室 大和田教諭  
TEL 03-5994-0722  
FAX 03-5994-0724

すでに、さまざまな世代や団体の『同期会』が開催されています

### 60歳の大規模同期会『還暦同窓会』を開催

今年から還暦を迎えた学年の有志主催による『還暦同窓会』が開催されます。芝雄会では取材協力という形で関わるようになりました。加えて、来年以降の還暦同期会についても、大規模同期会という形式を含めて、すでに開催の検討を進めています。還暦を迎える同窓生のみなさまは、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。また、引越しなどされている場合は 14 ページの住所変更手続きをご参照ください。

CASE01

### 吹奏楽部OB会



- 2015 年 3 月 30 日開催
- 34 人参加 ●新宿 柿安三尺三寸箸
- 幹事：小林優多郎（板橋第 55 回生）

CASE02

### 鐵中育英芝浦同窓会



- 2013 年 10 月 13 日開催
- 16 人参加 ●池袋 東明大飯店
- 幹事：池澤喜市（育英第 4 回生）

# 第60回 芝生祭



今年で60回目を迎える芝生祭。実行委員を中心に準備が着々と進められています。どんな文化祭になるのか、準備の様子をお届けします。



## 開催概要

10月3日(土) 10時00分～16時30分  
道場LIVE:～15時30分

10月4日(日) 9時30分～15時30分  
道場LIVE:～15時30分

芝浦工業大学中学高等学校にて

## 実行委員長より

第60代芝生祭実行委員長 山田 悠太

みなさま、こんにちは。芝生祭実行委員長をつとめる高校2年生の山田悠太です。

2015年は芝生祭が60回目を迎える記念の年です。例年にはないものにしたい気持ちでたいへん苦悩しましたが、1番苦戦したのは“テーマ決め”です。私の要望により“和風のテーマ”ということは早々に決定したものの、第60回に相応しい壮大なテーマを決めるのには長い時間を要しました。そうして苦労を積み重ねて決まったのが“大和”。昔からある由緒ある言葉で、日本人なら誰でも知っていると思います。記念すべき今年の文化祭を盛り上げてくれること間違いなしです。

私たち実行委員や生徒ひとりひとりの“大和の魂”が込められた最高の“和”の文化祭へ、ぜひお越しください。





昨年度の様子

# 芝雄会 何やるの!? ブースは

## 企画名「ゼロからはじめる板橋サヨナラ企画」

校舎3階4-A教室にて



芝雄会では、2017年3月に実施予定の『板橋サヨナラ企画』へ向けたポスターや、企画の展示も行います。

また、校舎とともに学校の歴史を振り返るポスターや、芝雄会の活動を紹介する動画を展示します。芝生祭へお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

※板橋サヨナラ企画の詳細は、4～5ページをご覧ください。

**特別企画** 飲みものの無料配布を行います。

芝雄会では「会についてもっと多くの人に知ってもらいたい」という思いから、この『芝雄 No.48』を芝雄会ブースへお持ちいただいた方限定に、無料でお茶をプレゼントいたします。数に限りがございますので、ぜひお早めにお越しください。

# 池袋から板橋へ 学校の歴史を振り返る



校庭から見た池袋校舎

## 第一回「池袋時代の思い出」

同窓会担当教諭 大和田 尚司

### —— 芝浦とのあい

私は昭和50年(1975年)4月に、芝浦工業大学高等学校に理科(物理)担当教諭として赴任しました。私は立教大学理学部物理学科出身で、4年間池袋に通学していましたが、芝浦工業大学高等学校が池袋駅のすぐそばにあることを知りませんでした。当時でも珍しい木造モルタル2階建ての校舎で、採用面接を受けるときに校舎の周囲を探し回りました。たまたま休み時間で生徒が窓から顔を出したので、ここが学校なのだと初めて気

づいた次第です。面接をしていたのは、伊尻政一先生と中平浩司先生でした。

赴任当時、同期は江藤浩一先生(社会)、安藤邦久先生(数学)、加藤秀昭先生(理科、生物)の3人でした。私たちを含めて専任教員は19名、全校生徒数約600人というたいへん小規模な学校だったことを覚えています。同期の中で私だけが高校2年生の副担任として配属され、山中隆雄先生が学年主任で、ほかに山本敬司先生、金子武憲先生、石山秀雄先生が担任でした。

### —— 修学旅行

昭和51年3月に、本校としては最後の九州修学旅行に引率しました。東海道新幹線で新大阪まで、新大阪からは夜行寝台列車で佐賀県鳥栖まで行き、鹿児島交通のバスに乗り換えて長崎に向かいました。阿蘇や鹿児島を経て、最終日の夕方に宮崎県日向でフェリーに乗船し、翌日川崎に到着しました。時化のため船が揺れ、到着が大幅に遅れました。このとき引率した生徒のひとりが、現在本校教頭の佐藤元哉先生です。



校庭から見た校舎入り口(入ってすぐに事務室・職員室)



校庭から見た体育館(2階は図書室)



池袋駅線路際の道から見た体育館



正門の校銘板

昭和52年(1947年)からは九州修学旅行に変わって、新潟県妙高高原池の平スキー場でスキー教室を実施しました。実施に当たっては、多くの卒業生にインストラクターとして協力してもらいました。私は大学時代までスキーの経験がなかったので、井口清司先生や清野清先生にスキーを教わりながら、懸命になって生徒と一緒に滑っていました。

#### —— 臨海学校

当時は高校1年生を対象に、7月21日から千葉県小湊海水浴場で

臨海学校を実施しておりました。全教員が引率し、日本体育大学の学生の協力を得て、泳力別の班編成で指導しました。私はカナヅチでしたので、休み時間に竹田智二先生から個人レッスンを受けましたが、何回か溺れそうになったのを覚えております。

#### —— 校舎移転

昭和57年(1952年)4月に、池袋から現在の板橋区坂下に移転し、同時に中学校を併設しました。校舎は6階建てで当時としては最新の設備を備えており、中学併設

に伴い教職員が一気に増え、昭和59年度には全校生徒数も1000人を超えました。板橋移転と中学校が併設されたことにより、学校行事は大きく変更されました。

移転当時、私は学年主任鈴木渉先生の下で、高校3年生の担任をしていました。当時の高校3年に在籍していた生徒のひとりが、現在の同窓会長豊田尚之さんです。板橋移転直後の思い出については、次号に掲載したいと思います。

# 芝雄会 かわら版

同窓生が参加するさまざまな活動をお知らせ！次号掲載をご希望の方は本ページ下部をご覧ください。

印刷

この“芝雄”も  
長い間、印刷しています

## シマザキ印刷

カラー・モノクロ、Mac・Win、アナログ・デジタル 両対応、データ入稿オーケー。納期厳守、品質最高、価格低廉(のつもり)です。印刷以外の事でも、アウトドア、選挙など何でも相談にのる印刷所です。

●連絡先：池袋 12 回生 島崎吏

HP <http://www.ictv.ne.jp/~insatsu/>

BLOG [http://blogs.yahoo.co.jp/umaso\\_zaki](http://blogs.yahoo.co.jp/umaso_zaki)

TEL&FAX 04-2963-3456

ジャズ

今も昔もジャズは横浜！  
『横濱 JAZZ PROMENADE2015』



### 【開催概要】

- 公演日・開演時間  
2015年10月10日(土)～11日(日) 11:30～21:30頃 上演時間 約1時間 (会場・公演により異なる)
- 会場  
横浜市開港記念会館 ほか

横浜の歴史、文化、ロケーションなどの利点を総合的に生かしたジャズ・フェスティバル。“日本のジャズのふるさと”横浜のイベントに出演するため日本中そして海外からトップミュージシャンが集結します。(前売券 4300 円、一部アマチュア演奏は無料)

●連絡先：横濱 JAZZ PROMENADE 実行委員会

HP <http://jazzpro.jp/>

Mail [info@jazzpro.jp](mailto:info@jazzpro.jp)

学内誌

芝浦工大生の今が分かる！  
学生制作のフリーペーパー



### 【団体概要】

- 規模 10 人前後
- 本拠地 東大宮・豊洲
- 発行頻度 年 3 回
- 次号配布予定  
11 月末、3 月末に計画中
- 配布場所  
大学校舎と板橋・柏校舎

学生へ向けた「タメになる耳寄りな情報」を発信する雑誌です。常に学生目線で、学生・院生が取材から執筆、編集、デザインまで担当しています。大学以外に板橋校舎のロビーでも配布しており、芝浦工大への進学を考えている生徒も読んでくれています。

●連絡先：芝浦工業大学 tot 編集部

HP <http://tot-ch.com/>

Mail [info@tot-ch.com](mailto:info@tot-ch.com)



## 日頃の活動を“芝雄”で宣伝してみませんか？

“芝雄”は芝雄会会員に毎年送られます。みなさまが参加する団体や行事の宣伝(法人、学生団体を問わず)をご希望の方は広報部までご連絡ください。

### ●掲載資格 / 条件

申請者が宣伝対象の団体や行事に参加している芝雄会会員であること。  
配布芝雄はモノクロ印刷。ウェブ配布(電子)版はカラー印刷になります。  
本校行事自体もしくは公序良俗に反する内容の宣伝は掲載をお断りします。

●連絡先：芝雄会広報部 [kouhou@shiyuukai.com](mailto:kouhou@shiyuukai.com)

# 芝雄会 活動報告

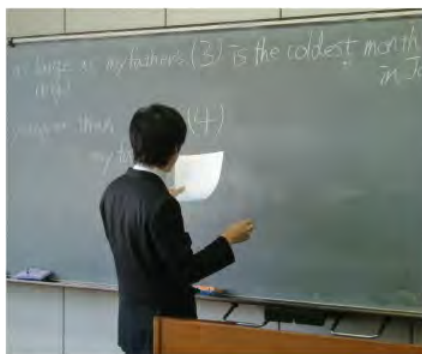
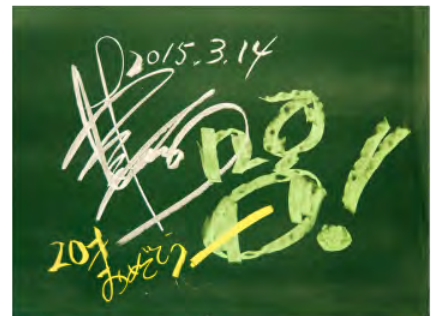


## 成人式 第6回成人式 講演コンサート♪を実施



今回で6回目を迎えた芝雄会主催の成人式、2015年3月に板橋校舎にて実施しました。当該学年の強い要望から、初の試みとして、シンガーソングライターの松本隆博さんをお招きした「講演コンサート♪」を実施しました。「若いつてすばらしい!」を主題として、歌にのせて贈られた祝福のことばに、多くの新成人が聞き入っていました。「成人という節目を迎え、多くの新しい事に挑戦できるようになるとともに、責任もともないます。既存の枠にとらわれず、どんどん突き進みましょう。そして、時には両親ことも思い出そう。といった内容です。

「講演コンサート♪」の後には例年と同様に、歓談の場を設けるとともに、ビンゴ大会を実施しました。



## 募集 大学生・院生限定チューター募集中 在校生の放課後学習をサポート

現在、本校では卒業生がチューターとして、在校生に年4回それぞれ約1ヵ月にわたる学習サポートや、定期考査直前にはチューターが常駐する全学年対象の自習室の開設(フリーサポート)を行っています。日を重ねるごとに自習室の利用者は増加(約50名)しています。

学生チューターの一員になって、母校の後輩をサポートしませんか? 興味

のある方は、芝浦工業大学中学高等学校職員室、柴田教諭までお問い合わせください。

### お問い合わせ

担当 柴田教諭  
電話 03-5994-0722 (学校職員室)  
メール kshibata@sic.shibaura-it.ac.jp



# お知らせ・ご案内

お願い


## 年会費納入のご案内

芝雄会の活動のため、卒業生による会費納入を毎年お願いしております。1口3000円で、会員おひとり様あたり1口以上となっております。お振り込みの際は、本誌に同封された郵便振込用紙をご利用ください。

納入された会費は成人式や同期会などの卒業生の各種行事および芝生祭や体育祭などに利用されます。

これからも卒業生および在校生を支える同窓会活動のため、ぜひご支援よろしく願いいたします。

以下の3カ所のご記入を忘れずに！



- ・納入金額
- ・口数
- ・卒業時期
- ・会員番号(※)
- ・住所
- ・氏名
- ・氏名

※会員番号は、本誌が入っていた封筒の宛名シールに記載されている数字列の事です。

## 年会費に関するよくあるご質問

- Q** 納入期限はありますか？  
**A** 平成27年度分は平成28(2016)年3月31日までお振り込み可能です。
- Q** 振込用紙を紛失した場合は？  
**A** 芝雄会総務部(soumu@shiyuukai.com)までご連絡ください。

総会

## 学校カフェテリアにて総会を開催 注目の新事業を発表

平成27年度の総会は、5月に本校カフェテリアで行なわれた。新幹事の就任、活動方針および予算の承認が無事完了しました。ほか、昨年度の成人式の報告や新事業「板橋サヨナラ企画」の紹介も行われました。

### 平成28年度総会概要

日付 2016年5月14日(土)  
場所 本校カフェテリア(予定)  
内容 活動報告、決算  
活動方針、予算など



ウェブ

## 芝雄会公式 SNS アカウント

芝雄会では広報活動の一環として各種ソーシャルネットワーキングサービス(SNS)で日々、活動情報を配信しています。ぜひフォローをお願いします。



各種イベントなど、新着情報はこちらでお知らせ!  
<https://www.facebook.com/shiyuukai>



イベント実況など、リアルタイムに情報を発信中!  
<https://twitter.com/shiyuukaiPR>



高画質画像を中心にイベントの様子をお届け!  
<https://plus.google.com/115552558953321421721/>



住所

## 住所変更申請のお願い 郵送費の削減などにご協力ください

転勤などの諸事情があり、卒業時もしくは前回更新時から住所が変わった方は、郵送物やお知らせの通知などがございまして住所変更の申請をお願いいたします。変更がない場合、各種お知らせが滞る原因となります。

ご連絡の際には、「卒業年、氏名、新住所」などを明記の上、芝浦工業大

学の窓口までご連絡ください。ご連絡方法は、電話やメール、ハガキ、FAXなどで受け付けております。

芝浦工業大学 総務部 総務課

電話 03-5859-7010  
FAX 03-5859-7011  
住所 〒135-8548  
東京都江東区豊洲 3-7-5  
メール somu@ow.shibaura-it.ac.jp

訃報

## 田村保先生が 逝去されました

本校元教員の田村保先生が、去る8月30日にご逝去されました。享年90歳でした。池袋時代の先生は数学の熱血指導で有名で、当時の生徒からは「早撃ちマック」と呼ばれて親しまれました。板橋移転時は、教頭として中学校設立にご尽力されました。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

# 予算・決算報告



## 平成 26 年度決算 平成 27 年度予算報告

平成 27 年度総会にて、昨年度決算と今年度予算は可決されました。概要は以下のとおりになります。

### 1. 平成 26 年度決算報告 (単位:円) 期間:平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

項目	H26 年度予算	H26 年度実績	備考
前年度繰越金	2,247,108	2,247,108	
1. 会費	3,152,000	3,162,000	在校生 1054 名
	700,000	518,000	決算額は 3 月 27 日現在
2. 事業	50,000	33,000	成人式残金
3. 雑収入	30,000	76,000	成人式収入
4. 引当金 繰入	0	0	
合計	6,129,108	6,003,108	

項目	H26 年度予算	H26 年度実績	備考
1. 運営費	680,000	391,091	
2. 広報費	1,250,000	995,214	
3. 事業費	700,000	560,469	
4. 慶弔費	70,000	0	
5. 会員活動補助費	560,000	637,564	
6. 在校生活動補助費	960,000	778,099	
7. 資産引当金	150,000	150,000	事業引当金に組入
8. 予備費	1,759,108	0	
次年度繰越金	0	2,490,671	
合計	6,129,108	6,003,108	

#### 平成 26 年度資産引当金残高(普通預金)

1. 名簿発行引当金	1,705,653
2. 各種引当金	1,581,176

以上の通り、報告いたします。 会 計 飯村隼多  
会 計 菊池瞬

厳正な監査の結果、上記決算は適正かつ相違ないことを認めます。

平成 27 年 5 月 9 日 監 査 清谷尚充  
監 査 岡田元宏

### 2. 平成 27 年度予算 (単位:円) 期間:平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日

項目	H27 年度予算	備考
前年度繰越金	2,490,671	
1. 会費	3,162,000	在校生 平成 26 年度 1054 名
	700,000	卒業生
2. 雑収入	30,000	成人式収入
3. 引当金 繰入	0	
合計	6,382,671	

項目	H27 年度予算	備考
1. 運営費	580,000	
2. 広報費	1,110,000	
3. 事業費	830,000	
4. 慶弔費	70,000	
5. 会員活動補助費	610,000	
6. 在校生活動補助費	1,060,000	
7. 資産引当金	500,000	
8. 予備費	1,622,671	
次年度繰越金	0	
合計	6,382,671	

以上の通り、提案いたします。

平成 27 年 5 月 16 日 会 長 豊田尚之

## 今後の予定

---

- 2015年10月3・4日 第60回芝生祭  
(場所：板橋校舎)
- 2016年3月1・22日 高校・中学卒業式  
(場所：板橋校舎体育館)
- 2016年3月19日 第7回成人式  
(場所：板橋校舎カフェテリア)
- 2016年5月14日 平成28年度芝雄会総会  
(場所：板橋校舎)

## 関係者紹介

---

- 発行 芝雄会  
制作 芝雄会広報部  
印刷 シマザキ印刷

## お問い合わせ

---

- 芝雄会広報部  
メール：kouhou@shiyuukai.com  
Twitter：@shiyuukaiPR  
Web：http://shiyuukai.com/  
電話：03-5994-0722（板橋職員室）  
住所：〒174-8524 東京都板橋区坂下 2-2-1